

開講科目名 / Course	教職概論 / Introduction to Teaching Profession
時間割コード / Course Code	VED1001
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester
曜限 / Day, Period	金 / Fri. 6
開講区分 / semester offered	1学期 / 1Term
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	1講 - 24 / 1講 - 24
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi (農学部 / Faculty of Agriculture)、板倉 浩幸 (農学府 / Graduate School of Agriculture)、谷萩 真樹 (農学府 / Graduate School of Agriculture)、山本 理 (農学府 / Graduate School of Agriculture)
概要 / Outline	<p>この授業の目標は「教育」、「学校」、「授業」、「教師」といったキーワードに関して教職履修学生として自分なりのイメージをつかむこと(特に1年生)、また現状を批判的にとらえ、問題点を自分の言葉で説明できるようになること(特に2年生)です。</p> <p>この授業は、教員免許取得をめざす人、教師をめざす人、学校教育について考えようとするみなさんに向けて開講されています。</p> <p>この授業を履修する皆さんは、教職科目履修者 つまり、教職課程在籍学生 すなわち教員のたまご、となります。このような皆さんの立場は、いわば教育業界へと一步踏み出した者として社会的にも認知される立場でもあります。全国の大学の教職履修学生は取得を目指す免許の校種や教科の違いがあっても同じ教職履修学生としての共通性を有することになります。そうした教職履修学生として学校現場との接し方について身に付けることもこの授業のねらいの1つとなります。</p>
到達基準 / Standard	<p>1年生(教職履修1年目の方)</p> <p>皆さんは、教職履修学生1年目ですので、教育業界へと一步踏み出した者として以下のことを身につけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育」、「学校」、「授業」、「教師」といったキーワードに関して教職履修学生として自分なりのイメージをつかむこと</li> <li>・教職履修学生としてのあるべき行動に関する常識、自覚を身に付けること</li> <li>・レポートの書き方、手紙(電子メール)の書き方、自己紹介の仕方、人前での話し方(ミニ授業や討論)など、社会人としての常識を身に付けること。</li> </ul> <p>2年生(教職履修2年目の方)</p> <p>皆さんは、教職履修学生としてすでに1年間のキャリアを有しています。2年目の今年は下記のことを身につけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育」、「学校」、「授業」、「教師」といったキーワードに関して2年目の教職履修学生として現状と問題点を自分の言葉で説明できるようになること。</li> <li>・教職履修学生としてのあるべき態度や服装に関して1年生と模範となること。</li> <li>・レポートの書き方、手紙(電子メール)の書き方、自己紹介の仕方、人前での話し方(ミニ授業や討論)など、1年生の模範となること。</li> </ul>

<p>授業内容 / Schedule</p>	<p>授業計画</p> <p>この授業は、教員免許取得のための必修授業です。各学科の卒業要件を満たすことに加え、免許取得のために本授業を履修しなければならないという各履修者のおかれた状況を考慮し、効率的に必要な学習を進めていただくために授業の一部をオンライン・オンデマンド方式で実施します。 クラスコード：jl31ms</p> <p>授業のズームリンクは授業開始時刻の少し前にクラスルームでお知らせします。</p> <p>毎回の授業は、下記の3部構成で行います。なお下記以外でも教職に有効と考えられる内容を追加する可能性があります。</p> <p>第1部. 第1回から第3回 授業の概要説明、分担のほか、教職全般についての説明を行います。</p> <p>第2部.第4回から第6回 教職コアカリ演習 教職コアカリキュラムについて教員と各履修者間で質疑応答を行います。履修者は教員のレクチャーを聞いて「わかったこと」「わからないこと」を所定のフォームに記入します。教員はその質問に対して回答します。</p> <p>第3部.第7回から第15回授業 教科書レポート 履修者は、教科書の1章から7章のいずれか1章を選んで、自分の担当日の1週間前までにレポートと発表動画（5分以内）を作成し、クラスルームにアップロードします。（分担は履修者が確定してから行います。）</p> <p>他の履修者は、毎回の授業時間内に、あらかじめ指定した4人一組のグループとなって各授業時間にズームで20分以内のグループ討議を行います。終了後、グループ代表者は、その録画データをクラスルームにアップロードします。各履修者は毎回の授業で学んだことや発表者への質問をフォームで報告します。</p> <p>第1回 4/10(工)4/11(農) シラバス説明及びテキスト紹介、発表分担決め等 第2回 4/17(工)4/18(農) 公教育の目的とその担い手である教員の存在意義の理解 第3回 4/24(工)4/25(農) 進路選択に向け、他の職業との比較を通した教職の職業的特徴(1)【公教育の担い手として】 第4回 5/1(工)5/2(農) 進路選択に向け、他の職業との比較を通した教職の職業的特徴(2)【学びの支援者として】 第5回 5/8(工)5/9(農) 教職観の変遷を踏まえた今日の教員に求められる役割(1)【高度専門職として】 第6回 5/15(工)5/16(農) 教職観の変遷を踏まえた今日の教員に求められる役割(2)【即戦力の実践者として】 第7回 5/22(工)6/23(農) 今日の教員に求められる基礎的な資質能力(1)【教育内容の視点から】 第8回 5/29(工)5/30(農) 今日の教員に求められる基礎的な資質能力(2)【教育方法の視点から】 第9回,6/5(工)6/6(農) 幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像(1)【学校の中での職務】 第10回 6/12(工)6/13(農) 幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像(2)【学校の外での職務】 第11回 6/19(工)6/20(農) 教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性(1)【教員のキャリアプランニング】 第12回 6/26(工)6/27(農) 教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性(2)【教員のライフプランニング】 第13回 7/3(工)7/4(農) 教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障 第14回 7/10(工)7/11(農) 校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チ</p>
----------------------------	--

履修条件・関連項目 / Requirements	教員免許取得を目指すことが履修要件です。
テキスト・教科書 / Text book	『教職概論』 「SDGsと学校教育」シリーズ 岩本泰・小玉敏也・降旗信一編著、A5判並製、183頁、定価2000円+税、ISBN978-4-7620-2915-8 教科書の所持・使用は、単位取得（教員免許保持）のための必須条件です。
参考書 / Reference book	
成績評価の方法 / Grading	<p>以下のレポートの合計点で90点以上がS,80点以上がA、70点以上がB、60点以上がC,60点未満がD（不合格）となります。なお、出席率が8割を切ると欠席の回数に応じて評価が下がります。（出席率6割を切ると単位の取得が危うくなりますので十分ご注意ください。）</p> <p>（1）教科書レポート A4で2p以内（40字×30行）。表紙不要。MSワードで作成。教科書の中の任意の一章について、 1）担当章にかかわる重要なキー概念や事実の説明（著者の主張は何か？）、2）自分の問題意識と文献調査の結果から得られた結論、3）さらに議論してみたい論点の提起、を記述し、自分の担当ミニ授業の7日前までにクラスルームにアップ。さらにその内容を5分以内でプレゼン動画作成。ミニ授業の担当日は第一回授業で決めます。提出期間以外に提出されたレポートの評価はできませんのでご注意ください。</p> <p>【レポートの書き方について】 以下の観点により採点する。 ・自分で考え、記述したものであるか。（剽窃・複写が判明した場合は0点とする。友人間で同様の行為を行ったと判定した場合は双方ともに0点とする。） ・授業テーマにそった課題設定となっているか。 ・引用と自分の主張を明確に区別できているか。 ・要求されている文字数を満たしているか。 ・表題及び全体の構成の仕方は適切か。 ・結論の導き方は妥当か。 ・提示された論点は明確か。 ・そのあとのグループ討議を刺激するような有益かつ魅力的な情報を提供しているか。</p> <p>（2）毎回の授業振り返りシート 毎回の授業で学んだことをフォームで報告します。フォームに何も記入がなければ、あるいは授業で学んだと明らかにみなされない記入内容の場合は欠席扱いになります。</p> <p>【3】学校見学レポート 中学校または高等学校の公開授業を見学してレポートを作成します。</p>
教員から一言 / Something	この授業は教職履修者以外の方は履修できません。
キーワード / Keyword	
オフィスアワー / Office Hours	質問はsfuri@cc.tuat.ac.jpにどうぞ
備考1 / Note 1	必ず第一回授業に出席すること。出席できない場合はクラスルームを確認すること。クラスコード：jlc3lms

開講科目名 / Course	教職概論 / Introduction to Teaching Profession
時間割コード / Course Code	V0202
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester
曜限 / Day, Period	木 / Thu. 6
開講区分 / semester offered	1学期 / 1Term
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	L1321 / L1321
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi (農学部 / Faculty of Agriculture)、岡 健吾 (農学府 / Graduate School of Agriculture)、田中 住幸 (農学府 / Graduate School of Agriculture)
概要 / Outline	<p>この授業の目標は「教育」、「学校」、「授業」、「教師」といったキーワードに関して教職履修学生として自分なりのイメージをつかむこと(特に1年生)、また現状を批判的にとらえ、問題点を自分の言葉で説明できるようになること(特に2年生)です。</p> <p>この授業は、教員免許取得をめざす人、教師をめざす人、学校教育について考えようとするみなさんに向けて開講されています。</p> <p>この授業を履修する皆さんは、教職科目履修者 つまり、教職課程在籍学生 すなわち教員のたまご、となります。このような皆さんの立場は、いわば教育業界へと一歩踏み出した者として社会的にも認知される立場でもあります。全国の大学の教職履修学生は取得を目指す免許の校種や教科の違いがあっても同じ教職履修学生としての共通性を有することになります。そうした教職履修学生として学校現場との接し方について身に付けることもこの授業のねらいの1つとなります。</p>
到達基準 / Standard	<p>1年生(教職履修1年目の方)</p> <p>皆さんは、教職履修学生1年目ですので、教育業界へと一歩踏み出した者として以下のことを身につけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育」、「学校」、「授業」、「教師」といったキーワードに関して教職履修学生として自分なりのイメージをつかむこと</li> <li>・教職履修学生としてのあるべき行動に関する常識、自覚を身に付けること</li> <li>・レポートの書き方、手紙(電子メール)の書き方、自己紹介の仕方、人前での話し方(ミニ授業や討論)など、社会人としての常識を身に付けること。</li> </ul> <p>2年生(教職履修2年目の方)</p> <p>皆さんは、教職履修学生としてすでに1年間のキャリアを有しています。2年目の今年は下記のことを身につけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育」、「学校」、「授業」、「教師」といったキーワードに関して2年目の教職履修学生として現状と問題点を自分の言葉で説明できるようになること。</li> <li>・教職履修学生としてのあるべき態度や服装に関して1年生と模範となること。</li> <li>・レポートの書き方、手紙(電子メール)の書き方、自己紹介の仕方、人前での話し方(ミニ授業や討論)など、1年生の模範となること。</li> </ul>

<p>授業内容 / Schedule</p>	<p>授業計画</p> <p>この授業は、教員免許取得のための必修授業です。各学科の卒業要件を満たすことに加え、免許取得のために本授業を履修しなければならないという各履修者のおかれた状況を考慮し、効率的に必要な学習を進めていただくために授業の一部をオンライン・オンデマンド方式で実施します。 クラスコード：jl31ms</p> <p>授業のズームリンクは授業開始時刻の少し前にクラスルームでお知らせします。</p> <p>毎回の授業は、下記の3部構成で行います。なお下記以外でも教職に有効と考えられる内容を追加する可能性があります。</p> <p>第1部. 第1回から第3回 授業の概要説明、分担のほか、教職全般についての説明を行います。</p> <p>第2部.第4回から第6回 教職コアカリ演習 教職コアカリキュラムについて教員と各履修者間で質疑応答を行います。履修者は教員のレクチャーを聞いて「わかったこと」「わからないこと」を所定のフォームに記入します。教員はその質問に対して回答します。</p> <p>第3部.第7回から第15回授業 教科書レポート 履修者は、教科書の1章から7章のいずれか1章を選んで、自分の担当日の1週間前までにレポートと発表動画（5分以内）を作成し、クラスルームにアップロードします。（分担は履修者が確定してから行います。）</p> <p>他の履修者は、毎回の授業時間内に、あらかじめ指定した4人一組のグループとなって各授業時間にズームで20分以内のグループ討議を行います。終了後、グループ代表者は、その録画データをクラスルームにアップロードします。各履修者は毎回の授業で学んだことや発表者への質問をフォームで報告します。</p> <p>第1回 4/10(工)4/11(農) シラバス説明及びテキスト紹介、発表分担決め等 第2回 4/17(工)4/18(農) 公教育の目的とその担い手である教員の存在意義の理解 第3回 4/24(工)4/25(農) 進路選択に向け、他の職業との比較を通した教職の職業的特徴(1)【公教育の担い手として】 第4回 5/1(工)5/2(農) 進路選択に向け、他の職業との比較を通した教職の職業的特徴(2)【学びの支援者として】 第5回 5/8(工)5/9(農) 教職観の変遷を踏まえた今日の教員に求められる役割(1)【高度専門職として】 第6回 5/15(工)5/16(農) 教職観の変遷を踏まえた今日の教員に求められる役割(2)【即戦力の実践者として】 第7回 5/22(工)6/23(農) 今日の教員に求められる基礎的な資質能力(1)【教育内容の視点から】 第8回 5/29(工)5/30(農) 今日の教員に求められる基礎的な資質能力(2)【教育方法の視点から】 第9回,6/5(工)6/6(農) 幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像(1)【学校の中での職務】 第10回 6/12(工)6/13(農) 幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像(2)【学校の外での職務】 第11回 6/19(工)6/20(農) 教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性(1)【教員のキャリアプランニング】 第12回 6/26(工)6/27(農) 教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性(2)【教員のライフプランニング】 第13回 7/3(工)7/4(農) 教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障 第14回 7/10(工)7/11(農) 校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チ</p>
----------------------------	--

履修条件・関連項目 / Requirements	教員免許取得を目指すことが履修要件です。
テキスト・教科書 / Text book	『教職概論』 「SDGsと学校教育」シリーズ 岩本泰・小玉敏也・降旗信一編著、A5判並製、183頁、定価2000円+税、ISBN978-4-7620-2915-8 教科書の所持・使用は、単位取得（教員免許保持）のための必須条件です。
参考書 / Reference book	
成績評価の方法 / Grading	<p>以下のレポートの合計点で90点以上がS,80点以上がA、70点以上がB、60点以上がC,60点未満がD（不合格）となります。なお、出席率が8割を切ると欠席の回数に応じて評価が下がります。（出席率6割を切ると単位の取得が危うくなりますので十分ご注意ください。）</p> <p>（1）教科書レポート A4で2p以内（40字×30行）。表紙不要。MSワードで作成。教科書中の任意の一章について、 1）担当章にかかわる重要なキー概念や事実の説明（著者の主張は何か？）、2）自分の問題意識と文献調査の結果から得られた結論、3）さらに議論してみたい論点の提起、を記述し、自分の担当ミニ授業の7日前までにクラスルームにアップ。さらにその内容を5分以内でプレゼン動画作成。ミニ授業の担当日は第一回授業で決めます。提出期間以外に提出されたレポートの評価はできませんのでご注意ください。</p> <p>【レポートの書き方について】 以下の観点により採点する。 ・自分で考え、記述したものであるか。（剽窃・複写が判明した場合は0点とする。友人間で同様の行為を行ったと判定した場合は双方ともに0点とする。） ・授業テーマにそった課題設定となっているか。 ・引用と自分の主張を明確に区別できているか。 ・要求されている文字数を満たしているか。 ・表題及び全体の構成の仕方は適切か。 ・結論の導き方は妥当か。 ・提示された論点は明確か。 ・そのあとのグループ討議を刺激するような有益かつ魅力的な情報を提供しているか。</p> <p>（2）毎回の授業振り返りシート 毎回の授業で学んだことをフォームで報告します。フォームに何も記入がなければ、あるいは授業で学んだと明らかにみなされない記入内容の場合は欠席扱いになります。</p> <p>【3】学校見学レポート 中学校または高等学校の公開授業を見学してレポートを作成します。</p>
教員から一言 / Something	3つのレポートの合計点（各100点）で90%以上はS,80%以上はA,70%以上はB,60%以上はCとなります。59%以下はD（不合格）となります。
キーワード / Keyword	
オフィスアワー / Office Hours	質問はsfuri@cc.tuat.ac.jpにどうぞ
備考1 / Note 1	必ず第一回授業に出席すること。出席できない場合はクラスルームを確認すること。クラスコード：jlc3lms

備考2 / Note 2	
参照ホームページ / Url	<a href="http://tuatkyoshoku.jp">http://tuatkyoshoku.jp</a>
開講言語 / Teaching language	日本語/Japanese
語学学習科目 / Language study subjects	